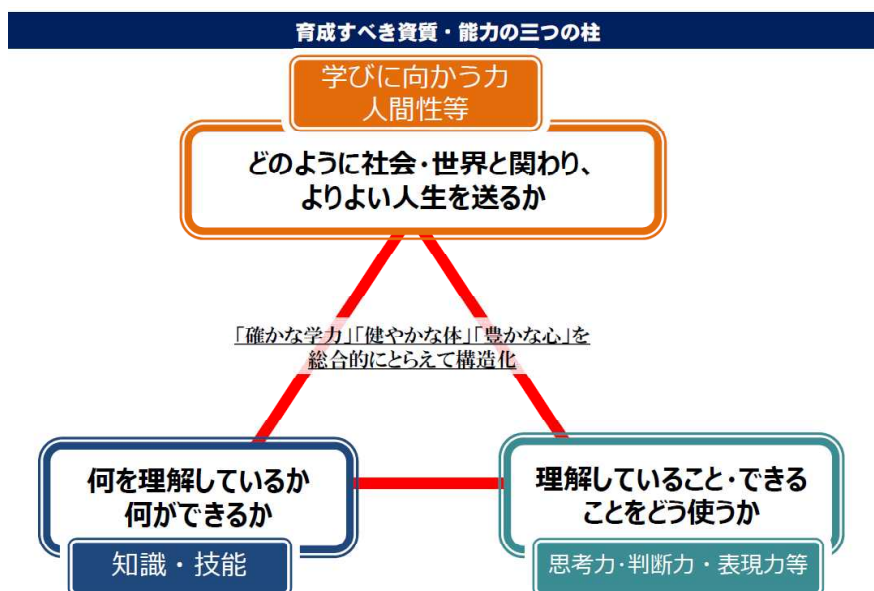


## 令和4年度第5回校長「語らいサロン」

テーマ「主体性の育成プログラム『リーダー・イン・ミー』について」

### 1 これからの日本人に必要な資質・能力とは？



15

『新しい学習指導要領の考え方－中央教育審議会における議論から改訂そして実施へー』より  
2017. 9. 28 文部科学省



マッキンゼー採用マネージャーを12年務めた著者が初めて語る  
「地頭より、論理的思考よりたいせつなもの」

伊賀泰代氏

結論 「マッキンゼーの採用規準」

- ①リーダーシップがあること
- ②地頭がいいこと
- ③英語ができること (④母語ができること)

「このうち、日本の「優秀な人」が持っているのは②だけで、  
①と③は絶望的にかけている。」そして、特に必要なのが「リ  
ーダーシップ・ポテンシャル」である。

☆ 伊賀氏の語る「リーダーシップ」とは？

「チームの使命を達成するために、必要なことをやる人」

「リーダーシップは全員に必要」

「リーダーシップは学べるスキル」

「リーダーがなすべき事」①目標を掲げる ②先頭を走る ③決める ④伝える

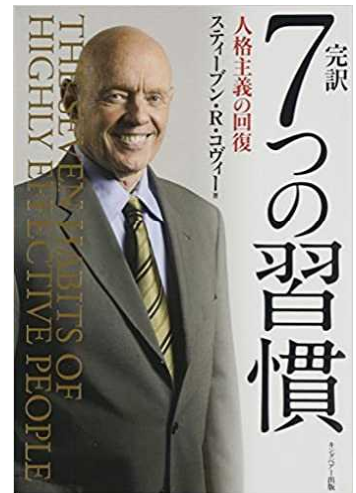
→ 〈日本人の特徴〉 成果よりも「和をもって尊しとなす」の組織、忖度、同調圧力…。

→ リーダーシップは、「新しい日本人の創造」だ！

## 2 「リーダーシップ」 = 「主体的である(To be proactive)」 = 第三吾孺小学校教育目標 『自立 自ら学び、考え、行動する人』

### 1) 『7つの習慣』 "The Seven Habits of Highly Effective People" by Stephen R. Covey(1989)

アメリカ建国以来発行された約 200 年分の「成功」にかかわる文献を調査した。その結果、直近の 50 年分の文献ではコミュニケーションスキルやポジティブシンキングなど、上辺だけの応急処置的なテクニックの解説に終始するものがほとんどであったのに対し、初めの 150 年間の文献は誠意、謙虚、勇気、正義、忍耐、勤勉、節制、黄金律といった、不変の「原則」に基づく優れた**人格の養成を重視していた**ことを発見する。著者は前者のパラダイムを「個性主義」、後者を「人格主義」と呼び、「人格主義」に基づいた成功への法則を抽出して、それを「7つの習慣」として提示した。(Wikipedia より)



### 2) 『リーダー・イン・ミー』 "The Leader in Me" by Stephen R. Covey, Sean Covey (2008)

1999 年、ノースカロライナ州のある学校が、学校存続の危機に迫られたことから始まりました。AB コムス小学校の ミュリエル・サマーズ校長先生は、学校を存続させるため、保護者や教員にどんな子どもになってほしいかヒアリングをした結果、以下のような力が子どもにとって必要とされていることがわかりました。

責任感、適応性、創造力、率先力、問題解決力、チームワーク  
リーダーシップ (主体性)、コミュニケーション能力、自発性、  
自らによる方向決定、異文化コミュニケーションスキル

これらの力は、ほとんどの学校関係者が望んでいたことで、**テストの点数といった学力向上よりも人間として総合的に力を子どもに身につけてほしい**というのが、ほぼすべての関係者の願いでした。そしてこれらの力は、サマーズ校長が受講した7つの習慣のセミナーで身に付けられるものと同じだったのです。彼女たちは「リーダーシップ教育」というテーマと、学校のミッションを掲げました。彼女たちは、7つの習慣をカリキュラムとしてではなく、学校のあらゆるところで実行し、すでにあるカリキュラムの中に、伝統や仕組み、そして文化に融合させ、編み込んでいったのでした。(The Global Leadership Impact Fund Japan ホームページより)



これらのは、ほとんどの学校関係者が望んでいたことで、**テストの点数といった学力向上よりも人間として総合的に力を子どもに身につけてほしい**というのが、ほぼすべての関係者の願いでした。そしてこれらの力は、サマーズ校長が受講した7つの習慣のセミナーで身に付けられるものと同じだったのです。彼女たちは「リーダーシップ教育」というテーマと、学校のミッションを掲げました。彼女たちは、7つの習慣をカリキュラムとしてではなく、学校のあらゆるところで実行し、すでにあるカリキュラムの中に、伝統や仕組み、そして文化に融合させ、編み込んでいったのでした。(The Global Leadership Impact Fund Japan ホームページより)

### 【本日のゲスト・コメンテーター】

フランクリン・コヴィー・ジャパン・エデュケーションチーム スクールパートナー  
高橋 広光氏